

## 道立近代美術館 9 月事業のご案内

### ▼特別展「カラヴァッジョ展」【有料】

期 間：8 月 1 0 日（土）～ 1 0 月 1 4 日（月・祝）

場 所：道立近代美術館 展示室 B

内 容：本展では、イタリア国内の所蔵作品を中心に、日本初公開の《病めるバックス》など 1 0 点あまりのカラヴァッジョ作品（帰属作品含む）に同時代の画家たちを加え約 4 0 点の傑作・秀作を北海道で初めて展示します。激情と苦難に彩られながら、新時代の潮流を導いたカラヴァッジョ芸術の輝きをご覧ください。

観覧料：一般 1, 6 0 0 円、高大生 8 0 0 円、中学生 6 0 0 円

※この料金以外に、団体料金や近美コレクションとの同時観覧料金等があります。詳細はお問い合わせください。

（お知らせ）

カラヴァッジョ展は当初予定していた 4 1 作品のうち、カラヴァッジョ作の 2 点を含む 8 点が届いていない中での開幕となりました。主催の北海道新聞社と道立近代美術館は、イタリア側の関係先に未着作品についても予定通りそろえるよう働きかけています。

しかしながら現段階では見通しが立っておらず、関係者、お客様にはご迷惑をおかけしています。あらかじめご了解の上、ご来場いただきますようお願いいたします。

なお、遅れている作品については、状況がわかり次第お知らせします。当分の間、再入場できるよう、入場券にスタンプを押す対応をいたします。

### ▼近美コレクション【有料】

期 間：8 月 1 0 日（土）～ 1 1 月 1 0 日（日）

場 所：道立近代美術館 展示室 A

展覧会名

○「バック・トゥ・ザ・フューチャー 来るべき 2 0 年代に向けて」

内 容：さまざまな芸術が開花した 1 9 2 0 年代。つぎの 2 0 年代を目前にした今年、アール・デコやエコール・ド・パリなど当館のすぐれたコレクションによって、この時代の前衛性や独創性を探ります。

○「新収蔵品展」

内 容：平成 3 0 年度の新収蔵品を紹介します。

○「ふれるかたち」

内 容：彫刻や立体作品に手でふれ、かたちや質感を感じることを通して美術作品を鑑賞する展覧会です。

○「この 1 点を見てほしい。」

内 容：5, 0 0 0 点以上の当館コレクションの中から 1 点を選び、多角的な研究

を通して作品の奥深い魅力をご紹介します。

日 程：8月10日（土）～9月26日（木）キスリング《オランダの娘》  
9月27日（金）～11月10日（日）淡島雅吉《しづくガラスタンブラー》

観覧料：一般510円、高大生250円

※この料金以外に、団体料金や特別展との同時観覧料金等があります。詳細はお問い合わせください。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※土曜日は高校生は無料となります。

▼ギャラリー・ツアー【有料／近美コレクション観覧料】

内 容：ボランティアが近美コレクションを解説します。

場 所：道立近代美術館 展示室A（「近美コレクション」展観覧券必要）

日 時：火～土曜日 11：30～12：00（展示室A 1階）  
13：00～13：30（展示室A 1階）  
14：00～14：30（展示室A 1階）

※休館日、祝日を除く。

▼ミュージアム・トーク【有料／近美コレクション観覧料】

内 容：学芸員が作品について講話します。

場 所：道立近代美術館 展示室A（「近美コレクション」展観覧券必要）

日 時：9月 8日（日）14：00～（約30分）  
9月14日（土）10：30～（約40分）  
9月22日（日）14：00～（約30分）

▼子ども鑑賞ツアー【有料／近美コレクション観覧料】

日時等：9月14日（土）11：00～（約30分）

場 所：道立近代美術館 展示室A（「近美コレクション」展観覧券必要）

内 容：小学生以上を対象に、展示室で対話を楽しみながら作品を鑑賞します。  
道立近代美術館の学芸員がご案内します。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（入場は16：30まで）

9月の休館日：2日（月）、9日（月）、17日（火）、24日（火）、30日（月）

※ただし、6日（金）、13日（金）、20日（金）、27日（金）は夜間開館日のため、  
9：30～19：30（入場は19：00まで）

【お問い合わせ】

北海道立近代美術館（〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目）

電話011-644-6882（総務企画部総務企画課）

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb/>

mima 北海道立三岸好太郎美術館 9月事業のご案内

▼所蔵品展 まぼろしミギシとともに【有料】

期 間：2019年7月13日（土）～9月4日（水）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室

内 容：所在不明や亡失してしまった「まぼろしミギシ」作品の数々。それらの画像パネルや当時の展覧会評を現存する作品とともに紹介し、三岸の変転しつづけた画業を丁寧に紐解きます。

観覧料：一般510円、高大生250円

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※毎週土曜日は高校生は無料となります。

※この料金以外に、団体料金や道立近代美術館「近美コレクション」展と併せてご覧いただく場合の割引料金があります。

詳しくは、当館ホームページをご覧ください。

▼同時開催「アートギャラリー北海道事業 フランク・シャーマンコレクションーあるアメリカ人を魅了した浮世絵」【有料／所蔵品展観覧料】

期 間：2019年7月13日（土）～9月4日（水）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室

内 容：GHQの印刷・出版担当官として1945年来日し、12年間日本に暮らしたシャーマン。日本美術を愛好した彼が魅せられ、収集した歌川国貞（三代豊国）や歌川国芳などの浮世絵25点を展覧。

▼特別展「三岸好太郎と幻想のイメージー《蝶と貝殻》をめぐる四章ー」【有料】

期 間：9月14日（土）～12月1日（日）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室1-5

内 容：三岸の最晩年の《蝶と貝殻》のシリーズに焦点をあてながら、絵画を中心に詩作やデザインなど多岐にわたる生涯の作品を、“幻想”をキーワードに探ります。特にシュルレアリスムの日本での受容に注目し、その影響がみられる小川原脩らの作品、さらにシュルレアリスムの画家、サルヴァドール・ダリやルネ・マグリットの版画作品も紹介します。

観覧料：一般610円、高大生360円、小中生250円

※この料金以外に、団体料金等があります。

※障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

詳しくは、当館ホームページをご覧ください。

▼同時開催「アートギャラリー北海道 mima - no - me #みまのめ〈VOL. 5〉」【有料／特別展観覧料】

期 間：9月14日（土）～12月1日（日）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室6, 7

内 容：三岸好太郎の進取の精神にちなみ、北海道ゆかりの若い芸術家を紹介するシリーズ企画「#みまのめ」の第5弾。絵画や工芸、写真など4人の作家を紹介します。本展は若い作家への活動の場の提供などで、北海道全体がアートの舞台となることを目指す「アートギャラリー北海道事業」として開催。

▼朗読とギター演奏で味わう《蝶と貝殻（視覚詩）》の世界【有料／特別展観覧料】

日 時：9月15日（土）14：00～15：00

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室

出 演：朗読／工藤正廣氏（北海道大学名誉教授）

ギター演奏／平原一良氏（公益財団法人 北海道文学館理事長）

▼講演会「三岸好太郎とシュルレアリスム－幻想を生む作法」【有料／特別展観覧料】

日 時：9月21日（土） 14：00～15：30

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室

講 師：速見 豊氏（三重県立美術館館長）

内 容：特別展に関連して三岸好太郎とシュルレアリスムの影響について講話いただく。

▼所蔵品展示解説【有料／所蔵品展観覧料】

日 時：毎日 13：00～15：00（日曜日、祝日及び午後のイベント開催日をのぞく）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室（三岸好太郎作品展示コーナー）

内 容：三岸好太郎作品の解説を行います。上記の時間帯に解説員が待機。

解 説：北海道美術館協力会解説部ボランティア

その他：観覧料のみでお聞きいただけます。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

9月の休館日：9月2日（月）、5日（月）～13日（金）、17日（火）、24日（火）  
30日（月）

【お問い合わせ】

mima 北海道立三岸好太郎美術館（〒060-0002 札幌市中央区北2条西15丁目）

電話 011-644-8901 テレホンサービス 011-621-7000  
<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/mkb/index.htm>

## 道立旭川美術館 9月事業のご案内

### ▼特別展「ブリティッシュ・オートマタ ポール・スプーナーと英国現代からくり人形の世界」【有料】

期 間：7月6日（土）～9月1日（日）

場 所：道立旭川美術館 第1展示室

内 容：世界中に熱狂的なファンを持つポール・スプーナーを中心に、イギリスの現代オートマタの数々を紹介します。展示する約80点のオートマタはそのほとんどがモーターを介して実際に動かすことができるほか、デザインスケッチや、触れて動かすことができる機構模型も展示して、視覚的にも、触覚的にも、魅力溢れるオートマタの世界をご案内します。

観覧料：一般1,000円、高大生600円、小中生300円

※この料金以外に、団体料金や常設展とのセット料金等があります。

### ▼特別展「没後20年 岩橋英遠展」【有料】

期 間：9月14日（土）～11月10日（日）

場 所：道立旭川美術館 第1展示室

内 容：岩橋英遠（1903－1999）は、江部乙（現・滝川市）に屯田兵の2代目として生まれました。郷里で農作業に従事して過ごし、21歳で日本画家を志して上京、山内多門、後に安田靉彦に師事します。院展を中心に活躍し、1989（平成元）年に文化功労者となり、1994（平成6）年には文化勲章を受章するなど戦後の日本画壇に大きな足跡を残しました。

本展では、初期作品から、晩年の作品まで、北海道内に所蔵される代表作を一堂に紹介します。また、英遠の故郷である滝川市美術自然史館が収蔵するスケッチ帳から未公開を含むスケッチや習作を紹介し、画家の創造の軌跡をさぐります。

観覧料：一般1,000円、高大生600円、中学生以下無料

※この料金以外に、団体料金や常設展とのセット料金等があります。

### ▼常設展「ニュー ストーリーズ」【有料】

期 間：4月27日（土）～9月1日（日）

場 所：道立旭川美術館 第2展示室

内 容：2018年度の新収蔵作品によって、新たに語ることができるようになった作品や作者についての物語を紹介します。

観覧料：一般260円、高大生150円

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※この料金以外に、団体料金や特別展とのセット料金等があります。

▼常設展「自然の風景 日本画の世界」【有料】

期 間：9月14日（土）～11月10日（日）

場 所：道立旭川美術館 第2展示室

内 容：旭川市出身で、日本美術院同人である日本画家福井爽人の作品を中心に、風景をはじめとした自然をモチーフとして描かれた日本画を紹介します。

観覧料：一般260円、高大生150円

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※土曜日は高校生は無料となります。

※この料金以外に、団体料金や特別展とのセット料金等があります。

▼オープニング記念ギャラリー・ツアー【有料】

日 時：9月14日（土）10：00～

講 師：河野敏昭氏（滝川市美術自然史館学芸員）

場 所：道立旭川美術館 第1展示室（要観覧券）

▼アーティスト・トーク【有料】

日 時：9月28日（土）11：00～

講 師：福井爽人氏（日本画家）

場 所：道立旭川美術館 第2展示室（要観覧券）

▼お茶会【有料】

表千家同門会旭川支部・旭川地区青年部

日 時：9月29日（日）10：00～

※茶菓がなくなり次第終了。

場 所：道立旭川美術館 ロビー

料 金：300円（お茶券）

その他：お茶券の半券呈示で「岩橋英遠展」が団体料金となります。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

9月の休館日：2日（月）～13日（金）、17日（火）、24日（火）、30日（月）

【お問い合わせ】

北海道立旭川美術館（〒 070-0044 旭川市常磐公園内）

電 話 0 1 6 6 - 2 5 - 2 5 7 7

<http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/abj/top.htm>

## 道立函館美術館9月事業のご案内

### ▼特別展「タグチ・アート・コレクション 球体のパレット」【有料】

期 間：9月7日（土）～11月10日（日）

場 所：道立函館美術館 特別展示室

内 容：タグチ・アート・コレクションは、日本の実業家・田口弘氏が約30年をかけて収集してきた、現代美術のコレクションです。1990年頃、ブティックに飾られたキース・ヘリングの版画に魅せられたのをきっかけに、アメリカの現代美術作品の収集が始められました。コレクションの射程は、やがて世界各国の現代美術へと広がっていき、いまや、現代の美術の動向を地球規模で見渡すことのできる、優れたコレクションが形成されています。

本展は、タグチ・アート・コレクションをはじめて北海道で紹介するものです。膨大なコレクションのなかから、日本、アジア、アフリカ、中東、ヨーロッパ各国のすぐれた現代アーティストの作品、約60点を選びすぐって展示いたします。絵画、彫刻、写真、映像など、幅広い表現形式の作品がご覧いただけます。紙袋、糸、土、グリッター（ラメ）、剥製、ガラスなど、取り上げられる素材が多様であることはもとより、それらの素材に対する創造的なアプローチを通して、視覚と感情を強くゆさぶるような表現が生み出されます。そこには、アーティストが生まれた国の歴史や文化、あるいは現在根拠地としている場所や社会の状況などが、濃く淡く、にじんんでいます。

21世紀の前半という、「現在」に根ざして表現活動を行なっているアーティストたちの斬新な表現は、同時代を生きる私達のところに、深い共感をよびおこすことでしょう。

観覧料：一般900（700）円、高大生600（400）円、

小中生300（200）円

※（ ）内は前売、リピーター割引、どうなんアートリンク、および10名以上の団体料金

### ▼ギャラリー・ツアー【有料】

道立函館美術館学芸員の解説とともに展覧会をめぐるります。

日 時：9月7日（土） 午後2時～（約30分）

場 所：道立函館美術館特別展示室

### ▼美術映画会

日 時：9月14日（土） 各日午後2時～

内 容：「オルセー美術館Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」

場 所：道立函館美術館講堂

定 員：80名（整理券配布）

▼ハコビ・ナイト・ミュージアム（有料）

内 容：夜の時間帯に特別展、常設展、ホール展示を鑑賞いただけます。作品に関するクイズもご用意いたします。ぜひお越しください。

日 時：9月27日（金） 午後5時30分～9時00分

▼松前高校書道部×木育 書道パフォーマンスとワークショップ

内 容：「金子鷗亭 川端文学燦文集」展（11月22日～2020年2月2日）のプレ・イベントです。地元の道南杉の盾に、墨で言葉をしたためる体験に挑戦します。

料 金：一般1,400円 高大生1,000円 小中生690円（観覧料+材料費+保険料）

講 師：北海道立松前高校書道部

締 切：9月26日（木）まで

対 象：大人から子どもまで 20名（小学生以下要保護者同伴）

▼「球体のパレット展」鑑賞授業

内 容：函館市立巴中学校の美術の授業を、「球体のパレット」展鑑賞授業として行います。本展出品作品アーティストによるトーク、映像によるレクチャー、ライブ・ドローイングを通して、鑑賞体験を深めます。

日 時：9月27日（金） 午後1時30分～（予定）

場 所：道立函館美術館展示室、講堂、ホール

講 師：鈴木ヒラク氏（本展出品アーティスト）

対 象：どなたでも（本展特別観覧券をお持ちの方のみ）

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

開期中休館日：1日（日）～6日（金）、9日（月）、17日（火）、24日（火）、30日（月）

【お問い合わせ】

北海道立函館美術館（〒040-0001 函館市五稜郭町37-6）

電話0138-56-6311

E-mail [hakobi.11@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:hakobi.11@pref.hokkaido.lg.jp)

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hbj>

道立帯広美術館9月事業のご案内

▼特別展「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地と、花と共に生きる動物達」【有料】



期 間：令和元年7月6日（土）～9月1日（日）

場 所：道立帯広美術館 主展示室

内 容：他者と共に世界を自由に創造することを楽しむ「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」と、北海道初展示の「花と共に生きる動物達」が今夏帯広にやってきます！

観覧料：一般1,400円、高大生900円、小中生600円

この料金以外に、団体料金やコレクション・ギャラリーとの共通観覧料金、リピーター料金などがあります。

※小・中・高校の教育活動としての観覧及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

▼特別展「世界を魅了した浮世絵師 北斎展 師と弟子たち」【有料】

期 間：令和元年9月14日（土）～11月24日（日）

場 所：道立帯広美術館 主展示室

内 容：「富嶽三十六景」シリーズや『北斎漫画』をはじめ、役者絵、美人画、妖怪絵、洋風画など膨大な数の作品を遺した葛飾北斎（1760－1849）。多くの絵師たちに影響を与え、世界的な人気を誇る北斎芸術の神髄に迫ります。

観覧料：一般1,100円、高大生600円、中学生300円（土・日・祝日の中学生は無料・帯広美術館ボランティア「しらかばの会」2019年度無料招待事業）、小学生以下無料。

この料金以外に、団体料金やコレクション・ギャラリーとの共通観覧料金、リピーター料金などがあります。

※高校の教育活動としての観覧及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

▼コレクション・ギャラリー「パリを彩る」【有料】

期 間：令和元年7月6日（土）～9月1日（日）

場 所：道立帯広美術館 コレクション・ギャラリー

内 容：20世紀初頭、近代的な市民社会を実現させたパリの街は、大型のポスターで華やかに彩られました。ポスターのメディアとしての役割とその芸術性について検証します。

観覧料：一般260円、高大生150円

この料金以外に、団体料金や特別展との共通観覧料金があります。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※高校生は、毎週土曜日が無料となります。

▼コレクション・ギャラリー「絵画は躍る?!」【有料】

期 間：令和元年9月14日（土）～11月24日（日）

場 所：道立帯広美術館 コレクション・ギャラリー

内 容：まるで今にも動き出しそうな躍動感やスピード感、作者の手の動きが残された筆致など、静止している絵画の中に表された様々な“動き”に注目して作品を

ご紹介します。

観覧料：一般 260 円、高大生 150 円

この料金以外に、団体料金や特別展との共通観覧料金があります。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※高校生は、毎週土曜日が無料となります。

▼ギャラリー・トーク【無料】

講師：中右 瑛 氏（国際浮世絵学会常任理事）

日時：9月14日（土）10：00～（約30分）

会場：道立帯広美術館 主展示室（要観覧券）

▼美術講演会「北斎 波瀾万丈90年の生涯」【無料】

講師：中右 瑛 氏（国際浮世絵学会常任理事）

日時：9月14日（土）14：00～（約90分）

会場：道立帯広美術館 講堂（聴講無料）

▼映写室「北斎ミステリー～幕末美術秘話 もう一人の北斎を追え～」【無料】

日時：9月29日（日）14：00～（約100分）

場所：道立帯広美術館 講堂（参加無料）

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

9月の休館日：2日（月）～13日（金）、17日（火）、24日（火）、30日（月）

【お問い合わせ】

北海道立帯広美術館（〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地）

電話 0155-22-6963

ホームページ <http://www.dokyo-i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/obj/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/do.obimu>

## 道立北方民族博物館 9月事業のご案内

▼常設展示【有料】

期間：4月1日（日）～3月31日（日）

場所：道立北方民族博物館 常設展示室

内容：世界各国から集めた約900点の資料を、衣食住・生業等のテーマ別に展示し、北方に暮らす人びとの文化を紹介しています。

観覧料：一般 550 円、高大生 200 円、小中生・65 歳以上無料

※小中生、65 歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

▼特別展 「北欧サミの暮らしと工芸」【有料】

期 間：7 月 13 日（土）～10 月 14 日（月・祝）

場 所：道立北方民族博物館 特別展示室

内 容：北欧に暮らす先住民サミの暮らしのなかに見られる工芸品の紹介と文化復興について紹介します。

観覧料：一般 450 円、65 歳以上 300 円、高校・大学生 200 円、小・中学生  
無料

▼上映会 「北方民族博物館シアター秋」【無料】

日 時：9 月 7 日（土）13：30～15：00

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着 50 名

内 容：北方民族博物館が所蔵する映像資料を上映します。

▼講座 「サミと言語文化復興への取組み」【無料】

日 時：9 月 15 日（日）10：00～11：30

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着 50 名

内 容：北欧サミの言語復興の取組みについて紹介します。

講 師：田辺 陽子氏（ULC 教育研究所/ロンドン）

▼講演会 「サミの文化と工芸」【無料】

日 時：9 月 21 日（土）13：30～15：00

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着 50 名

内 容：スウェーデンのサミの民族学者であるファルク氏がサミの文化を紹介します。

講 師：エリカ・ノルドヴァル・ファルク氏（サミ民族学者）

▼講習会 「サミの手袋」【有料】

日 時：9 月 22 日（日）10：00～12：30

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着 20 名

内 容：スウェーデンのサミの民族学者であるファルク氏を講師に、サミの伝統的な手袋の編み方を学びます。

講 師：エリカ・ノルドヴァル・ファルク氏（サミ民族学者）

参加費：2,700 円（材料費）

▼はくぶつかんクラブ 「インディアンのテント・ティピ型ライトづくり」【無料】

日 時：9月28日（土）10：00～12：00

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着20名

内 容：インディアンのテント「ティピ」の形をしたライトを作ります。

講 師：平栗 美紅（当館解説員）

○お知らせ

開館時間：9：00～17：00

9月は無休です

【お問い合わせ】

北海道立北方民族博物館（〒093-0042 網走市字潮見309番地1）

電話0152-45-3888

<http://hoppohm.org>

## 道立文学館9月事業のご案内

▼特別展「ノンフィクション作家・保阪正康の仕事～「昭和史」との対話」【有料】

日 時：8月31日（土）～11月7日（木）

場 所：道立文学館特別展示室

「昭和」とは、あの「戦争」とは何だったのか。「昭和」を生きた政治家、軍人などに取材を重ね、その証言や資料で実態を読み解き、『東條英機と天皇の時代』、『ナショナリズムの昭和』など多数の著書で日本の近現代史を検証し続ける札幌出身の保阪正康の仕事を紹介、次代に語り継ごうとしている歴史の教訓を考えます。

観覧料：一般700円、高大生及び65歳以上450円、小・中生300円

▼文芸対談「ノンフィクションと歩む」【無料】

日 時：9月22日（日）14：00～15：30

会 場：道立文学館講堂

講 師：保阪正康氏（ノンフィクション作家）、梯久美子氏（ノンフィクション作家）

定 員：80名（要申込）

申込方法：往復はがきに①イベント名②ご氏名③ご住所④電話番号を記載して9月1日

(日)まで(当日消印有効)に応募してください。

※1枚のはがきで2名まで応募できます。(その際は2名分の氏名を記載)

※定員を超えた場合は抽選となります。

▼高校生と語る「近代日本の戦争と北海道の人々」【無料】

日 時：9月23日(月・祝) 14:00～15:30

会 場：道立文学館講堂

講 師：保阪正康氏(ノンフィクション作家)

定 員：80名(要申込)

申込方法：9月10日(火) 9:00から電話で受付

▼映像作品鑑賞のつどい【無料】

日 時：9月15日(日) 13:30～

会 場：道立文学館講堂

作 品：「日本のいちばん長い日」(原田真人監督/役所広司、本木雅弘/2015年)

定 員：80名(要申込)

申込方法：8月30日(金) 9:00から電話で受付

▼常設展「北海道の文学」【有料】

期 間：4月2日(火)～令和2年3月31日(日)

場 所：道立文学館常設展示室

内 容：明治以降150年の歴史の中で育まれてきた北海道の文学。小説、詩、短歌、俳句、川柳、またアイヌ民族の口承文芸、さらには児童文学や評論、随筆など、それぞれの分野に珠玉の作品が生まれました。その担い手としてパイオニア精神を発揮した多くの文学者と、今なお読み継がれている多くの作品の光と影とが、常設展示室に漂っています。

観覧料：一般500円、高大生250円。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料

※高校生は土曜日は無料となります。

▼常設展アーカイヴ【有料/常設展観覧料】

○原田康子～「挽歌」のころ

期 間：7月9日(火)～9月23日(月・祝)

場 所：道立文学館常設展示室

内 容：原田康子没後10年、ブームを興した「挽歌」の周辺を紹介します。

▼月例朗読会 「北の響～名作を声にのせて」【無料】

日 時：9月12日(木) 13:30～

会 場：道立文学館講堂

朗 読：朗読

定 員：60名（申込不要）

▼～わくわく～こどもランド【無料】

日 時：9月1日（日）11：00～12：00

会 場：道立文学館講堂

内 容：絵本の読み聞かせ ほか

定 員：60名（当日先着）

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

9月の休館日：2日（月）、9日（月）、17日（火）、24日（火）、30日（月）

【お問い合わせ】

北海道立文学館（〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4）

電話011-511-7655

<http://www.h-bungaku.or.jp>

## 道立釧路芸術館9月事業のご案内

▼宇宙象 嶋崎誠展 ガラスの魂が語る【有料】

期 間：9月13日（金）～11月7日（木）

会 場：道立釧路芸術館 展示室

内 容：北海道東部で活動する現代美術家・嶋崎誠は、古代メソポタミアで発明されたガラスの鑄造技法を独自に発展させ、現代と古代を結ぶ彫刻の制作に挑んでいます。30年の月日をかけて完成させたガラス彫刻19点や、大型の絵画、多数のドローイングを展示し、表現の根底に流れる作家の思考を体感していただきます。

観覧料：一般600円、高大生300円、小中生100円。

このほか、10名以上の団体、親子、リピーター料金があります。

詳しくは、当館ホームページでご確認ください。

なお、釧路・根室管内在住の高校生以下は、無料です（釧路芸術館ボランティアの会 SOA 2019 年度招待事業）。

また、障がい者手帳等をお持ちの方も無料で観覧できます。

▼作家によるギャラリーツアー【宇宙象 嶋崎誠展観覧券が必要】

日 時：9月16日（月・祝）・23日（月・祝） 14：00～（約30分）

会 場：道立釧路芸術館 展示室

ご案内：嶋崎誠 氏

※申し込みは不要です。

▼アーティストトーク【宇宙象 嶋崎誠展観覧券が必要】

日 時：9月28日（土） 14：00～（約1時間）

会 場：道立釧路芸術館 展示室

お話し：嶋崎誠 氏

聞き手：当館学芸員

※申し込みは不要です。

▼北海道遺産選定記念 鶴居村簡易軌道資料展示

期 間：9月13日（金）～10月6日（日）

会 場：道立釧路芸術館 フリーアートルーム

内 容：昭和初期から約40年間、鶴居村と釧路を結び物流を支えた簡易軌道。2018年に「北海道の簡易軌道」が北海道遺産に選定されたことを記念して、鶴居村の簡易軌道の関連資料を展示します。

▼パフォーミングシアター 2019 ポケットサーカス【無料】

日 時：9月14日（土） 11：00～／13：30～（2回開催）

出 演：中村太一パントマイムスタジオ

会 場：道立釧路芸術館 前庭

※雨天の場合は整理券を配布し、アートホールで開催します。

▼アートシネマ館【無料】

日 時：9月28日（土） 10：00～／14：00～（2回上映）

上映作品：「私の中のあなた」2009年／アメリカ／カラー／109分

監 督：ニック・カサヴェテス

会 場：道立釧路芸術館 アートホール

※申し込みは不要です。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00

9月の休館日：1日（日）～12日（木）・17日（火）・24日（火）・30日（月）。

**【お問い合わせ】**

北海道立釧路芸術館（〒085-0017 釧路市幸町4-1-5）

電話：0154-23-2381 ホームページ：<http://www.kushiro-artmu.jp>

**道立埋蔵文化財センター9月事業のご案内**

▼常設展示「掘り出された北の歴史」展【無料】

期 間：4月1日（土）～3月31日（土）

場 所：道立埋蔵文化財センター 展示室

内 容：展示室では北海道の遺跡や出土遺物について紹介しています。素材の特性を生かしながら、どのように手を加え、利用してきたのか、さまざまな道具の中に北海道の大地に生きた先人の知恵と工夫の跡をご覧ください。

▼特別展示「北の縄文 - 縄文探訪と縄文工房 - 」【無料】

期 間：7月6日（土）～9月29日（日）

場 所：道立埋蔵文化財センター 常設展示室ほか

内 容：縄文探訪と縄文工房の2つのテーマを通して、北海道のオホーツク文化を分かりやすく紹介します。縄文探訪は、「もうひとつの古代世界 オホーツク文化」をテーマに、文化の展開、生活、交流・交易、葬送・信仰などの各テーマを通して、日本史の中でも特有の文化要素を持つオホーツク文化の社会を紹介します。縄文工房は、「縄文人・オホーツク人になろう」をテーマに、(1) 土器をつくろう（ミニチュア土器作り）、(2) アクセサリーを作ろう（滑石を用いた玉作り）、(3) 砂絵を作ろう（土器や石器を題材とした砂絵作り）、(4) 本物に触ろう（土器片に触れ重さや質感を実感し、拓本体験を通して文様等を観察する）のメニューを体験できます。

▼考古学講座「アートな考古学を知る・学ぶ4 土偶芸術の世界」【無料】

日 時：9月7日（土）13:30～15:30

場 所：道立埋蔵文化財センター 研修室

定 員：100名

内 容：「土偶」抜きには縄文文化は語れない。全国の土偶に精通し、多くの土偶の国宝や重要文化財の指定を担当してきた、講師ならではの視点で土偶の見所やその魅力をお話しいたします。

講 師：原田 昌幸（文化庁文化財第一課主任文化財調査官）

○お知らせ

開館時間：9:30～16:30



9月の休館日：2日（月）、3日（火）、9日（月）、17日（火）、24日（火）、30日（月）

**【お問い合わせ】**

北海道立埋蔵文化財センター（〒069-0832 江別市西野幌685-1）

電話011-386-3231

<http://www.domaibun.or.jp/>